

前期教育実習始まる

111名の完走を目指して！

19日（月）から前期の教育実習が始まりました。今まで以上に校庭からの子どもたちの歓声が校長室にも聞こえるようになりました。子どもたちと校庭を駆け回っている教生の先生方の姿を見るといつの時代でも子どもとのラポートを築くには「遊ぶ」ことが一番だと教えられます。

さて、下の写真は、先日4年生の子どもたちが校長先生に取材にきた時の様子です。「昔の学校の様子を教えてください」という取材内容で、校長先生は「副校長先生の方が・・・」と言いかけていましたが、私は先日取材を受けたので、校長室にある資料を紹介し、校長先生と子どもたちと一緒に調べてもらいました。ご存知の通り温かな校長先生のお人柄もあり、楽しく調べることができました。大学の先生と子どもたちが身近に学べる機会があることも附属小ならではのですね。



働き方改革推進のために 目的と目標の共有化を！

昨年度末から取り組んできた「業務改善」を推進するために、先日の打合せで校長先生からお話があったように、校長、副校長、教頭、主幹教諭、研究主任でこれまで2回の話し合いを持ちました。ここで、この改革の目的を

- ・ 附属小学校教職員の心と体の健康維持
- ・ 充実した研究の推進

の2つとし、具体的な目標として「在勤時間短縮」「会議短縮」「研究方法改善」の3つに絞り設定しました。また、7月10日（月）～15日（金）までを「早期退庁奨励週間」とし、全職員で取り組んでいくことを確認しました。

さて2回目の話し合いでは、まず昨年度末に設定した取り組みの検証を行いました。次に各担当から3つの観点についての原案が提出されました。実習中でもありなかなか先生方と話す時間はないのですが、これから随時意見を求めていく予定ですのでご協力よろしくお願いします。

教育実習が始まって学校が一気に活気づきました。教生の先生方と教材研究をしている先生方の姿を見ると羨ましくもあり、また、私たちが人を育てる「崇高な使命」を担っていることに気持ちが高ぶります。まだ前半戦。来週最後の日までどうか111名全員が完走できるようご指導よろしくお願いします。

(文責：副校長 手代木)